

# 校舎長 × 合格者

～合格対談～

京都府立医科大学 医学部医学科

桜井菜々さん(龍谷大付属平安高校)

京都府立医科大学・医学部医学科に見事現役合格した桜井さん。  
マナビスでの受験生活を四條烏丸校の矢本校舎長と振り返ってもらいました。

矢本校舎長「京都府立医科大・医学部医学科合格、おめでとう！」

桜井さん「本当にうれしいです。合格発表の日にホームページが更新されなくて、  
現地に見に行くことになって。番号がなかったら来た意味ないなあ…って  
思いながら。でも、番号があったので信じられませんでした。」

矢本校舎長「自信はありましたか？」

桜井さん「まったくありません(笑)。ダメやろな～と思ってました。」

矢本校舎長「医師を目指し始めた時期はいつぐらいですか？」

桜井さん「めっちゃ早いです。医師になりたいとはずっと思っ  
ていたので。小学校の卒業文集にすでに書いていました。  
大学は国公立希望だったのと、あと関西圏で、とい  
うところから京都府立医科大学に決めました。」



矢本校舎長「他の大学も考えましたか？」

桜井さん「考えたんですけど他の大学は通いにくくて、家から通えるところは他に  
京大の医学科しかないやん…ってなって(笑)、じゃあ京都府立医科に  
しよう！って(笑)」



矢本校舎長「部活との両立で意識していたことはありますか？」

桜井さん「矢本先生がたててくれた毎月の受講ノルマを部活の  
せいで達成できないということがないようにして  
いました。毎月の目標を提示してもらったので  
達成感が得られて良かったです。」

矢本校舎長「大変だったと思いますが、毎月しっかりと受講して  
いましたね。」

矢本校舎長「今年度は、休校期間があり大変でしたね。」

桜井さん「つらかったです(笑)。家では集中できないタイプなので…。  
学校もマナビスにも行けないのはきつかったです。でも毎日  
アドバイザーの方から電話をもらっていたので、そのときに  
ちゃんと成果を報告できるように頑張りました。」

矢本校舎長「受験を振り返ってどの時期が一番しんどかったですか？」

桜井さん「近づいてくるとやっぱりどんどん不安になりました。あと何日って  
というのがプレッシャーで(笑)。京府医の医学科のアドバイザーさんの  
存在は本当に心強かったです。」

矢本校舎長「彼女も1年前に同じ立場でしたからね。桜井さんの気持ちはよく  
わかっていたはず。」

桜井さん「あと、12月の三者面談で矢本先生に共通テストでこれだけ取れたら  
大丈夫だよって言ってもらえたので安心できました。  
それから、ホームルームも毎回受けるたびに頑張らなきゃ、という  
気持ちになりました。ダメな勉強の例をあげてもらうこともあり、  
その都度自分の勉強方法も修正しました。」

矢本校舎長「いよいよ春から大学生ですね。」

桜井さん「医学の勉強をしっかりとやるという意味では受験でしてきた生物の知識  
は役に立つだろうし、今までの知識を活かしつつ自分のものにして  
いく過程が楽しみです。あとは部活動もやりたいと思います！  
卓球とかスポーツをしてみたいです。」

矢本校舎長「マナビスでアルバイトするっていう話はどうなりました?(笑)」

桜井さん「先輩のようにできたらいいなあとも思うけど…。できるかなあ。」

矢本校舎長「桜井さんならできますよ。受験生の気持ちはよくわかると思うので  
今度は桜井さんが高校生を支えてあげてください。」



桜井さん、現役合格おめでとうございます。  
今後の更なる活躍を期待しています。